



明峰

令和8年2月26日

第 28 号

校長 岡野利男

※犬塚さんから贈物
今回は、木いちご・
チューリップ・スプ
レーカーネーション!!いつも、ありが
とうございます!!



春の訪れ

昨日(2月25日)の朝は、明らかに何かが違いました。何かの正体は、『明峰坂の鶯の鳴き声』です。まあ、本当にびっくりするほどの大きな鳴き声があちらこちらから聞こえてきます。雨上がりの多湿によりいつもより大きく音が響くのか、それとも前の日が、雨で動けなかったものだから、ここぞとばかりに鶯さんたちも頑張っていたためか、それは定かではありませんが、とにかく、昨日の明峰坂の鶯の鳴き声は、間違いなく春の訪れを感じさせる爽快なものでした。

「鳴き方が上手ではない春の鶯」がいますよね。“ホ～、ケキョ・ケキョ・ケキョ”とリズムが狂っていたり、いつまでたっても、“ホ～”の次の声が出てこなかったり。昨日の明峰坂の鶯たちはですね、それはまあ、きれいな立派な“ホ～ ホケキョ!!”の鶯たちでした。7時半前に私が明峰坂を降りていく時点では、ベテラン鶯さんたちの大合唱だったのです。ところが・・・、耳を澄ますと、次第に前述の「鳴き方が上手ではない春の鶯」たちが頑張っているではありませんか。それがとても嬉しかった。

ご存知の方も多いと思いますが、「ホ～ホケキョ」はオスの鳴き声で、【メスへの求愛行動】や【縄張り宣言】のために鳴きます。また、春に聞こえる上手に鳴けない鶯のほとんどは、生まれて初めて“ホ～ ホケキョ”の鳴き声に挑戦する新米鶯さんたちなのだそうです。

年度当初、本校1年生諸君に、「君たち1年生と鶯の鳴き声とは同じだよ」という話をしたことがあります。春にうまく鳴けない鶯たちは、夏にかけて段々鳴き声が上達してくると言われています。「のどの筋肉の発達」と「幾たびもの練習」という2つの要素が相まって美しいホ～ホケキョを奏でるようになるそうです。

誰にでも上手く振る舞えない「初めての時」があります。3年生が人権集会で手話で歌ってくれたとおり、「誰でも最初は初心者なんだから♪」のとおりです。

3年生にも、2年生にも、1年生にも、春が訪れます。新たな自分の役割や託される責任が生まれます。最初は上手にできなくていいのです。鳴いてみるこそが大切!! 「いつか、きっと」です。



ジョージ・ワシントンの「桜の木」

同じく、昨日(2月25日)の話です。これもまた、本当に心が温くなる出来事がありましたので、学校だよりで紹介したいと思ひまして・・・。

多くの保護者の皆様は、タイトルの「ジョージ・ワシントンの桜の木」の話を御存じかと思ひます。アメリカ合衆国の初代大統領であるジョージ・ワシントンが子供の頃、父親が大切にしていた桜の木を斧で切ってしまったこと・それを正直に父親に話したというエピソードです。実は、この話が事実なのかどうかを裏付ける史料はなく、作られた話ではないかと言われていることを御存じの方もいらっしゃるでしょう。それはひとまず置いて・・・。

昨日昼休みに、二人の1年生男子が校長室を訪ねてきました。2人とも神妙な面持ちで入ってきたものですから、「どうしたの?」と尋ねたところ、「校長先生、玄関の横に停めてある車は校長先生のですよね?」と言うのです。「そうだけど、どうしたの?」と私。すると、「ごめんなさい。僕たちが車の横を走っている時に、車のミラーの部分に当たってしまって、ミラーが曲がってしまいました。」と言うのです。

かわいくて・かわいくて仕方ありませんでした。～。「よしよし、心配するな。校長先生と一緒に見に行こう。」と3人で車へ。予想どおり、ドアミラーがねじれているだけでしたので、簡単に元に戻したら、2人とも再び元気に遊びに出かけました。

素敵なお生徒でしょう? 失敗をしない人はいません。過ちをおかさない人もいません。その後どれだけ素直になれるか、改めてその素直さはどれほど大切なことなのかを覚えてもらったと思っています。

保護者の皆様へのお願い

インフルエンザの感染拡大が止まりません。現在、3年3組が学級閉鎖となっています。大切な卒業式はもう12日後のことです。うがい・手洗い、そして栄養たっぷりの食事と十分な睡眠。これらである程度感染は防げます。ぜひ、御家庭でも注意をお願いします。

